

## 新 著 紹 介

今 堀 宏 三 著

## 日 本 産 輪 藻 類 總 説

Ecology Phytogeography and Taxonomy of the  
Japanese Charophyta. 1954.

本著は總論及び各論からなり、234頁に亘る勞作であり、中41圖版を有し、英文で書かれ和文摘要が附されている。

總論は本著の特徴的な部分であり、「輪藻類の研究史」に始まり、「地理的分布」の項では日本のものをアジャ諸國と比較して論じ、「生態學的考察」ではこの類の生育する池沼型の分類、その水の物理的・化學的性質、土壤の要素、生物的要素を論じている。又「輪藻類の有用性」の項に於て、フラスモ屬の生育している水には蚊の發生の少ない事、生物學の實驗材料としても優れている事等が説かれている。又、「分類上の位置及びその分類系」に於て、著者は種々の觀點から、輪藻類は蘚類に非常に近い獨立した一箇の群であると考え、その分類法は J. GROVES 氏に據り、更に新しい意見を加えて之を行つている。更に又、「採取法及び標本作製法」に至るまで親切に説明されている。

各論に於ては各種に記載、解剖圖及び日本に於ける分布圖が附され、近似種との異同が論ぜられている。種の鑑定の重要な性質として、フラスモ屬に於ては分枝部、最終枝、小枝の第一次及び最終分枝、卵器の性質等があげられるが、著者は之に更に安定した特徴として卵胞子の性質を加えて種の同定を行つている。又、フラスモダシ屬では分枝部、結實枝、最終枝の終端細胞、雄器の柄の性質等が分類の基準とされている。更にシャジクモ屬では皮層及び莖の棘細胞の有無及びその形態、托葉冠、小苞及び苞、性器、卵胞子の性質等に分類の基準が置かれている。

之等の性質に基づいて著者は多くの新種等を發表されて來たが、本著に於ては更に4新種、4新變種、3新産種、3新産變種を加え、フラスモ屬 *Nitella* 47種、フラスモダシ屬 *Tolypella* 1種、シャジクモ屬 *Chara* 8種合計56種を記載している。

卷末には術語の解説があり、種の解剖圖、近似種との比較等と相俟つて容易に種を知る事の出来るのは本書の特色であらう。(金澤大學發行、丸善株式會社發賣、1,000圓)

(阪井興志雄 北大理學部植物學教室)

岡 田 喜 一 著

## 接合藻類の新分類系、特に鼓藻類に就いて

A New Classification of Conjugatae, with Special Reference to  
Desmids. Mem. Fac. Fish. Kagoshima Univ. Vol. 3, No. 1. 1953

本論文は著者が1927年以來研究して來たものの結果であり、緒言、研究史、新分類系、